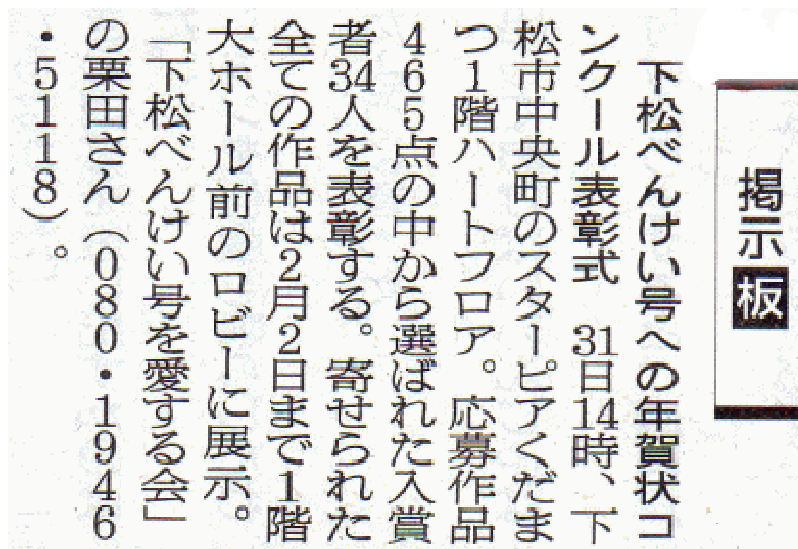


報道記録（2014年度：2014.12～2015年度：2016.2.2）

Kービジョン	2016年2月2日	(タウンニュース) べんけい号への年賀状コンクール表彰式状況	
朝日新聞	2016年1月28日	年賀状コンクール表彰式	→
日刊新周南	2016年1月27日	べんけい号に年賀状465点	→
日刊新周南	2016年1月27日	西京教育文化振興財団が助成	→
日刊新周南	2015年12月16日	下工弁慶号に年賀状を	→
日刊新周南	2015年9月15日	下工弁慶号の姿さまざまに	→
Kービジョン	2015年8月26日	(タウンニュース) 下工弁慶号地元の活動状況	
Kービジョン	2015年8月25日	(タウンニュース) 愛知県でミニ弁慶号が完成	
日刊新周南	2015年5月19日	復元機政策を推進 下松べんけい号を愛する会が総会	→
朝日新聞	2015年3月31日	弁慶号への年賀状展	→
中国新聞	2015年3月20日	市民グループ 地域産業象徴SL守る	→
読売新聞	2014年10月16日	牛乳パックでSL弁慶号づくり	→
日刊新周南	2014年10月15日	5年後の復元機製作へ	→
日刊新周南	2014年10月8日	高橋さんのピアノコンサートも	→
	2014年7月19日	恋するフォーチュンクッキー収録	→
読売新聞	2014年6月20日	ミニ「弁慶号」寄付集め加速	→
日刊新周南	2014年6月18日	下松べんけい号を愛する会が総会	→
Kービジョン	2014年6月16日～	(タウンニュース) ミニモデル機製作本格始動	
朝日新聞	2014年6月12日	べんけい号まんじゅう	→

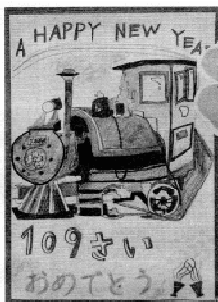
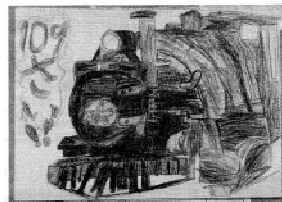
「朝日新聞」2016年1月28日（木曜日）13版S 29 山口東版



べんけい号に年賀状 465点



●下松●
2月2日まで
応募作品展
展示されている作品



最優秀の
うちやまさんの作品 (左上)
いしまるさんの作品 (左下)
なかむらさんの作品 (上)

下松市の下松べんけい号を愛する会の「百九才おめでとう 下松べんけい号への年賀状コンクール」の作品展が二十二日からスタービアカademiaのロビーで開かれ、全応募作四百六十五点を展示している。二月二日まで、入賞者三十四人も発表式が、三十二日午後二時から同館のハートフロアで表彰式を開く。同会は市役所前のグリーンプラザに展示している小型蒸気機関車の下工丹慶号を通した「まちづくり」などに取り組んでいる。コンクールには幼稚園、保育園児や一般から応募があり、蒸気機関車の絵に「おめでとう」などの言葉を添えた作品が集まった。発表式では六校・園に感謝状も贈る。入賞者からは「最優秀賞」のうちやまさん(平田保)、「優秀賞」のうちやまさん(中村小)、「特別賞」のうちやまさん(中村小)が選ばれた。また、おもしろい作品として、かみもも(あおぼほ保)の「おめでとう、かみもも」が選ばれた。また、おもしろい作品として、かみもも(あおぼほ保)の「おめでとう、かみもも」が選ばれた。

村小かわむらかなかく(平田保)▽アイデア賞▽ふるたひな久保小▽技術賞▽国沢洋(二一般)▽感謝状米川小久保小、下松小、中央保育園、あおぼほ保育園、平田保育園

39団体に計800万円 西京教育文化振興財団が 助成

西京銀行

西京教育文化振興財団(理事長・平岡英雄、西京銀行頭取)の第

二十六回助成金交付式が二十六日、周南市の遠石会館で開かれ、九団体に計八百万円を贈った。同財団は一九九〇年



目録を受け取る橋本代表

周年記念で設立して以来、毎年助成を続けている。今回は六十二の応募団体から選考した。このほかの周南の助成先は次の通り。

交付式には特に功績

が顕著として特別表彰も受賞した十団体の代表者が出席。平岡頭取から目録が手渡され、このうち周南関係は周南市のAtelier(アトリエ)の橋本桂一代表、NPO法人ライオンズ協会、須々万地区盆踊り保存会、本山区盆踊り保存会、徳山七土慰霊祭実行委員会(周

統いて平岡頭取が「自由に使っていたら、さらなる飛躍を遂げたい」と祝辞を述べた。この十団体のほかは十、二十万円を

- 南)NPO法人下松ベ
- んけい号を愛する会
- (下松)▽芸術部門
- 花岡小吹奏楽部(下
- 松)▽スポーツ部門
- 聖光高ヨット部(光)下
- 松中央ミニバスケット
- ボールクラブ(下松)

下松市のNPO法人下松べんけい号を愛する会が今年も「百九歳おめでとう、べんけい号への年賀状コンクール」を開くことになり、市役所前広場に市が展示している小型の蒸気機関車、下工弁慶号にあてた年賀状を募集している。

今年で四回目。市内外、年齢を問わず応募でき、最優秀賞、優秀賞などを選び、一月三十一日午後二時からスターピアくだまつハートフロアで表彰式を開き、同館などで作品展も開く。

下工弁慶号に年賀状を

●下松●

下松べんけい号を 愛する会が募集



はがき大の用紙で応募でき、市内の保育園、幼・保育園に応募用紙を配って各校・園で受け付けるほか、ほしらんどくだまつ、スターピアくだまつ、市地域交流センターにも応募袋を置いている。作品には住所、氏名、年齢を必ず書いて、郵送は下松郵便局止めで下松べんけい号を愛する会あてに送る。

締め切りは一月十二日。問い合わせは同会副理事長兼事務局長の栗田一郎さん（080・1946・5118）へ。

下工弁慶号の姿 さまざまに



入賞した子どもたちと保護者、愛する会役員

●松● 愛する会が 親子スケッチ会

下松市の秀賞に平田保育園の者次の通り。
NPO下松にしともき君(3)親 最優秀賞にしとも
べんけい号 子などの四作品が選 ぎ、おがわりく、にしも
を愛する会 ばれた。 もか(平田保)石飛康成

(大木孝行 スケッチ会は親子で
理事長)が 一緒に下工弁慶号を描 優秀賞まつもとゆう

くだまつ の日の趣旨を生かそう (潮音保)中村歩乃佳
親子の日” と、二昨年まで四回開い (豊井小1)松本樹(公

の七月二十 たスケッチ会を昨年か 集小2)▽おじいちゃ
六日、市役 ら親子にして続けてい んとの思い出で賞い

所前に展示 されている。 しとびこうき(2歳・防
さ 府市)▽親子の思い出

ミニSL、下 今回の市内外の二歳 府市)▽親子の思い出
工弁慶号を から小学六年生まで十 賞おがわけいと

テーマに開 七点の応募があり、八 (平田保)▽楽しく描け
いたべんけ 月二十七日にはスター 賞は、はらだはやて(四恩

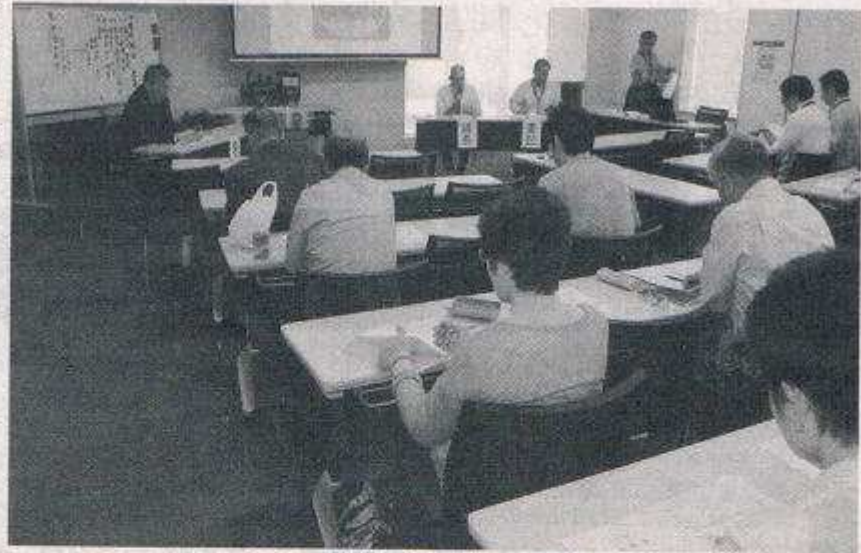
い号親子ス ピアくだまつで表彰式 幼)しましようにち(妹
ケッチ会の を開いて大木理事長が 背幼)▽良い思い出で

入賞作品が 賞状と記念品を贈っ 賞池田梓真(榎浜小
決まり、最優 た。非公開を除く入賞 1)池田結星(同6)

復元機製作を推進

下松・下松べんけい号を愛する会が総会

下松市役所前に展示されている蒸気機関車、下工弁慶号の保存と子育て支援などに取り組みNPO下松べんけい



審議する出席者

号を愛する会の総会が十七日、ほしらんどくだまつで開かれ、役員を改選して副理事長の大木孝行さんが新しい

理事長に就任した。

総会には会員など約三十人と来賓の市教委の原田幸雄生涯学習振興課長が出席。事業計画では実物の六分の一の大きさでポイラーで走る下工弁慶号の復元ミニモデル機を二〇一九年（H31）に製作する計画を進めることや、七月の「くだまつ親子の日」への協賛、年賀状コンクール、下工弁慶号の大掃除などを決めた。

役員はこのほか副理事長に事務局長の栗田二郎さん、国弘成文さん、藤井恒雄さん、藤川光儀さんを選び、橋本腸公理理事長は顧問に就任した。総会のあとはふれあい交流会も開かれた。

弁慶号への年賀状展

下松、児童が描いた343点

下松市役所のシンボルにもなっている明治時代の小型蒸気機関車「下工（くだこう）弁慶号」への年賀状展が、同市大手町のほしらんどくだまつで開かれている。4月7日まで。

弁慶号の保存とPRに取り組む「下松べんけい号を愛する会」の呼びかけで、市内の子どもたちが描いた343点を2回に分けて展示している。

1907（明治40）年に製造された弁慶号は、旧徳山海軍練炭製造所で石炭運搬に使われた。県立下松工業高校が実習教材用に譲り受け、96年に同窓会の下松工業会が市に寄贈した。



「愛する会」の栗田一郎事務局長（68）は「小さい子らの自由奔放な表現に感心させられた。2年後の弁慶号誕生110周年に向けて、小型の復元モデルの製作などで盛り上げていきたい」と話している。

（杉井昭仁）

山口総合

鉄道車両のまち

下松

英国高速始動

〈4〉

である。

「僕たちが通っていたころは正門横にあっただんです。毎日、目にしてきた」。NPO法人「下松べんけい号を愛する会」の栗田一

下松市の観光振興の拠点である笠戸島。建て替えが進む国民宿舎大城の前に蒸気機関車(SL)が飾られている。1940(昭和15)年に対岸の日立製作所笠戸工場(現笠戸事業所)で製造され、山陽線を30年以上走り続けた「D51592」だ。県内外の愛好家12人でつくる「笠戸島D51592を繋がる会」は、来年秋の大城のリニューアルオープンまでに、さびを落とし、運転席のレバーなどを

修理する計画だ。奈良山孝司代表(42)＝光市立野＝は「笠戸島は小學校も閉校になった。D51を楽しみに、子どもたちが大勢来てほしい」と願う。市役所の広場にもS下松工業學校が前身。

市民グループ

地域産業象徴 SL 守る



ガラス張りの格納庫に展示してある弁慶号の前で、思い出を語り合う栗田事務局長(左端)たち。(下松市役所)

周りを迎えた下松市。旧町時代から90年以上にわたり鉄道車両を送り出してきたまちらしく、SLが飾られ、愛好する市民グループが活動する。英国などへ鉄道車両を輸出する港では、県が係留設備の増強を計画している。井川成正市長も若い頃、日立製作所社員を経て、鉄道部品製造会社を設立している。井川市長は「世

Lが展示されている。以前は下松工高に飾られていた「下工弁慶号」である。当時はまだ珍しい工業系の人材を育てる場ができたのは、日立製作所の基礎を築いた久原房之助の寄付によるところが大きい。弁慶号は07(明治40)年に東京で製造され、現存するSLでは日本最古である。2011年に発

本年度で市政施行75周年を迎えた下松市。旧町時代から90年以上にわたり鉄道車両を送り出してきたまちらしく、SLが飾られ、愛好する市民グループが活動する。英国などへ鉄道車両を輸出する港では、県が係留設備の増強を計画している。井川成正市長も若い頃、日立製作所社員を経て、鉄道部品製造会社を設立している。井川市長は「世



牛乳パックでS.L.弁慶号作り

現存する国産の蒸気機関車（S.L.）で3番目に古いとされる「下工弁慶号」のミニチュア版の製作を計画している下松市のグループが、同市のほしらんどくだまつで、「べんけい号まつり」を開いた。製作の機運

を盛り上げるため、子どもたちが牛乳パックで弁慶

号を作るなどして楽しんだ写真。

弁慶号は1907年、東

京の石川島造船所（現IH I）が製造した。周南市の旧海軍徳山練炭製造所で運搬車として使われていたが、34年に下松工業学校（現下松工高）に実習用機材として払い下げられ、「下工弁慶号」と呼ばれるようになった。96年に市所有となり、現在は市役所前広場に展示されている。

まつりを開いたのは、弁慶号の保存、活用に取り組むNPO法人「下松べんけい号を愛する会」。2日目の12日には工作のほか、弁慶号を題材にした紙芝居や弁慶号の模型展示などもあった。工作に参加した下松小4年、竹村王秀君（9）は「弁慶号そっくりに作れて楽しかった。家に飾りたい」と話していた。

同会は駆動する6分の1サイズのミニ弁慶号を製作する計画で、費用に充てる寄付金を集めている。来年に図面を仕上げ、5年後の市制80周年までに完成させる予定という。

5年後の復元機制作へ

下松・べんけい号まつりにぎわう



下工弁慶号の紙工作に取り組む親子

下松市のNPO法人下松べんけい号を愛する会（橋本暢公理事長）の第三回べんけい号まつり（新周南新聞社など後援）が十一、十二日、ほしらんどくたまつり開かれ、両日で延べ約三百人が訪れた。同会は市役所の前庭に

展示している一九〇七年（M40）製の小型蒸気機関車、下工弁慶号を通じてまちづくりを進めている。十一日は原出身ピアノニストの高橋正実さんのピアノコンサート、十二日は「はしれ！べんけいごう」などの紙芝居上演や絵本の読み聞かせ、マジック、下工弁慶号の模型を作る紙工作を親子づれなどが楽しんだ。

栗田一郎事務局長は「五年後の市制八十周年に間に合うように下工弁慶号の復元機を制作したい。まつりを通じて理解の輪を広げ、復元機制作へ物心両面の協力を幅広く呼びかけていきたい」と話していた。

●下松● 高橋さんのピアノコンサートも

11、12日・べんけい号まつり

下松市の第三回べんけい号まつり2014秋が十一、十二日にほしらんどくたまつり開かれ、十一日は午後六時から山口県出身のピアノニスト、高橋正実さんの「月光」の夜のコンサート、十二日は午前十時からSLの模型展示、SL関係の絵本展などがある。

市役所前庭に保管・展示されている小型蒸気機関車、下工弁慶号にちなんだまちづくりを進めるNPO法人下松べんけい号を愛する会の主催。コンサートはサルビア

ベートーベンの「月光」やショパンの「幻想即興曲」などクラシックの名曲。六時四十五分からの第二部は「親子で楽しむピアノ名曲」と題してモーツァルトの「トルコ行進曲」などを演奏する。入場料は一般千五百円、中高生八百円、第二部だけの親子ペア券は八百円。

十二日は紙芝居や読み聞かせ、風船アート遊びや工作、愛する会の活動紹介、下工弁慶号の走行映像の映写などがある。問い合わせは事務局長の栗田さん（080・19

ミニ「弁慶号」寄付集め加速

下工弁慶号のミニSLの
模型を見る橋本理事長
（右）と栗田事務局長

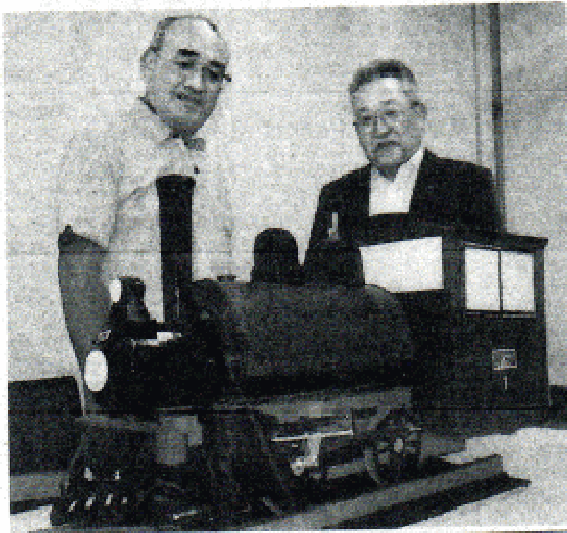
製作計画の下松のNPO

実物大模型作りPR

下松市役所に展示されている蒸気機関車（SL）「下工弁慶号」の保存、活用に取り組みNPO法人「下松べんけい号を愛する会」は今年度から、ミニSLの製作費に充てる寄付金集めに本格的に取り組む。会員が製作したミニSLの実物大模型を見せるなどして、広く市民や企業、鉄道ファンから集める方針だ。

（津江秀亮）

愛する会は今年度より、SLの中で3番目に古い。下工弁慶号は現存する国産



1907年に東京の石川島造船所（現・IHI）が米

国の小型機関車をモデルに製造。周南市の旧海軍徳山練炭製造所で運転車として使われた。34年に下松工業学校（現・下松工高）に実習用に払い下げられ、96年10月に市に寄贈された。

現状では弁慶号の実物を走らせることは難しい。そこで、同会は5年後の市制80周年までに本物の6分の1のサイズで、小型ボイラーで駆動するミニSLを作ることを計画した。

10人程度がまたがって乗れる客車と、5枚（約12・5センチ）幅で長さ約100センチ

の線路も併せて製作する予定で、実物が展示されている市役所前の芝生広場の前で定期的に運転するほか、市内外のイベントにも参加する。

製作費は300万円。「多くの人の賛同を得ながら効率的に集める」と話している。

め、分かりやすく説明することが必要」との声が上がると、会員がプラスチックと紙でミニSLの実物大の模型を作った。大きさだけでなく、形や色、細かい部品を忠実に再現し、軽くて持ち運びも楽にできる。寄付を呼びかける際に展示するなどして役立てる。

このほか、ファンドレイジング（資金調達）の専門家を招いた講習会も開催し、説明の技術も学ぶ。

愛する会の橋本暢公理事長と栗田一郎事務局長は「自信を持って説明を尽くし、多くの寄付を集めていきたい」と話している。



総会の参加者たち

蒸気で走るミニモデル機製作へ

下松べんけい号愛する会が総会

● 下松 ●

下松市のNPO法人下松べんけい号を愛する会（橋本暢公理事長）の総会が十五日、ほしらんどくだまつ交流室で開かれ、二〇一四年（H26）度の事業では小型蒸気機関車「下工弁慶号」の六分の一の大きさで木炭ボイラで走る復元ミニモデル機の製作を五年後の完成を目指してスタートすることを決めた。

下工弁慶号は一九〇七年（M40）に製造された貴重な国産の蒸気機関車で、徳山海軍燃料廠で使われたあと、長く下松工高で教材として使われた。一時、スクラップ同様の状態になっていたが教員生徒による大修理で八一年（H56）の同校の創立六十周年式典で再び走行に成功し、現在は市役所のグリーンプラザに展示

されている。同会はこの機関車を使った地域活性化に取り組み、昨年、NPO法人になった。

復元モデル機は金属製で木炭を燃やして作る蒸気で車輪を動かし、定員十人の客車を引いて進めるものを目指す。下松市制八十周年の二〇一九年（H31）まで五年がかりで製作し、今年度は毎月第三土曜にグリーンプラザで車体を計測して設計図を作る。並行して三百万円を見込んでいる製作費を調達するための募金の呼び掛けも始める。事業計画ではこのほか七月の生涯学習フェスタに参加、十月のべんけい号まつり、十二月の下工弁慶号の大掃除や年賀状コンテスト開催などを決めた。総会では復元ミニモデル機と同じ六分の一の大きさの紙製の模型も展示して関心を集めた。

萩名物「蒸気まんじゅう」なぜ蒸気船の形に



で、蒸気まんじゅうもその一つだ。

旧萩市が1968年、明治維新から100年を記念して出版した「萩の百年」に、蒸気まんじゅうに関する記述があった。

「萩で少年期を過ごした人にとって、蒸気機関は忘れにくい風物詩の一つであ

ろう。日露戦争の頃、岡山から来た人が商売を始め

た。「昭和19（1944）年に文化講演に来萩した作家横光利一らは、焼きたてを食べて奥口方言に「東京の今川焼きや鯛焼きよりうまい」と言った」

記述通りなら、蒸気まんじゅうの誕生は1904

05年ごろだ。大正、昭和を通じ、子どもから大人まで「おやつ」として愛され、最盛期の昭和30、40年代には、30軒近い店舗や屋台があり、祭りの夜店には欠かせない存在だったという。当時、どこにでも顔を出す人のことを、萩では「蒸気まんじゅう

」と揶揄したほど、ポピュラーだった。現在は3軒が残るのみだという。萩市内の萩博物館南側の公園で2012年4月から週末に屋台を出す清水明人さん(69)は「観光客は物珍しきで、地元の人や大人はもちろん、高校生も『小学生的時よく食べた』と懐かしそうに買っていく」と話す。「形の由来ははっきりしないが、当時の時代背景を考えれば、蒸気船は萩沖を通過したロシア艦隊のことではないか」



蒸気船の形を模した「蒸気まんじゅう」。今も萩市民に愛される「庶民の味」だ。蒸気まんじゅうの屋台と清水明人さん（いずれも萩市内）

山口の不思議な「もの」や「こと」を募集しています。朝日新聞山口総局に郵便（〒753-0007 8 山口市緑町2の20）か、メール（s-yamaguchi@asahi.com）でお寄せ下さい。

一方、「ロシア艦隊説」に対し、萩博物館の統括学芸員の清水満幸副館長は「明治10年代後半に大阪と鳥取・境港を結ぶ大阪商船の貨客船が就航し、特座の夏ミカンを運んでいた。20世紀初頭は大阪商船が航路を拡大していた時期で、最先端の船をモチーフにしたのではないか」との見方を披露する。

変わり焼き菓子として、蒸気機関車発祥の地である下松市で今年、地元NPO法人が蒸気機関車を模した「弁慶号まんじゅう」を考案して、イベントなどで売り出している。清水明人さんは「蒸気まんじゅうは西洋文明の窓を開いた萩らしい形で、全国でも同じ形は聞いたことがない」と胸を張る。1個120円（税込み）。

日露戦争の敵方艦隊説や大阪商船説も

萩名物の一つに「蒸気まんじゅう」がある。蒸気で焼いた菓子かと思いきや、全然違う。蒸気船の形をした焼き菓子だ。萩と蒸気船を調べてみると、日露戦争のころに商品化されたという記録が見つかった。蒸気まんじゅうは、溶いた小麦粉を金属製の型に流し込み、小豆あんを入れて焼き上げる。同じ手法の焼き菓子としては、関東で「今川焼き」、関西で「回轉焼き」と呼ばれる丸い形のもの一般的だ。変形タイプの代表格がたい焼き